令和７年度　基本評価調書	所管部局	経済部	所管課	観光振興課

施策名	誘客活動の推進	施策コード	0503
政策の柱	観光	政策体系コード	1(2)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策、北海道Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画	事務事業数	16
特定分野別計画	北海道観光のくにづくり行動計画		
SDGs		総合判定	やや遅れている

予算額（千円）	R5	21,802,202千円	R6	953,639千円	R7	870,896千円

施策目標	北海道観光の更なる高付加価値化のため、ターゲットを明確にした観光戦略に結びつくきめ細かなマーケティングを展開し、自然や食等の地域資源を活用した多彩なツーリズムの推進、地域の特性を活かした観光資源の発掘・磨き上げ・発信、本道の強み・特性を活かしたＭＩＣＥ誘致の推進など、観光地づくりと多様なニーズを的確に捉えたプロモーションを一体的に推進する。
現状と課題	（観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開） 新たなインバウンドをはじめとする道内外からの旅行客を獲得するためには、国や地域と連携しながら、対象国に対する効果的なプロモーションの展開が必要。欧米豪市場については認知度向上及び季節偏在の解消への取組の実施、アジア市場については滞在日数の長期化や消費額単価を向上させる取組を、マーケット特性に応じて実施していく必要性がある。 （ＭＩＣＥ誘致支援の実施） ＭＩＣＥは、国内外から多くの参加者が集まり、消費活動による経済効果はもとより、周辺地域を含めた開催地域のブランド力の向上など、幅広い効果が期待できるものであるが、他府県との競争や、開催地の道央圏への偏在が課題となっており、関係者との連携を強化しながら、本道の強み・特性を活かした取組が必要。

<主な取組>

今年度の取組	（観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開） ・国内外における観光需要回復の波を確実に捉え、多様化する旅行者ニーズや市場特性に応じた戦略的なプロモーションを展開するなど国内外の需要の喚起に取り組む。 （ＭＩＣＥ誘致支援の実施） ・国内外でのプロモーションの強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助するなど、本道の価値や優位性を活かし、ＭＩＣＥ誘致の促進に取り組む。
実績と成果	（観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開） ・首都圏や地方中核都市での各種PRやマスコミ、旅行会社を対象とした観光情報交換会の開催（4回のリアル、オンライン3回配信･総視聴者数2,621人）のほか、道内空港と直航便が就航している国・地域等に向けたWeb・SNS等（新規フォロワー数：国内70,991名、海外127,562名）を通じた情報発信などにより、国内外観光客の誘客促進を図った。 ・全国で開催される観光PR催事（全国26都市31会場）へ出展したほか、道内各地（4地域）の特性を活かした国内外プロモーション事業等（国内プロモーション16件、海外プロモーション8件、パブリケーション7件、地域支援事業12件、Webｺﾝﾃﾝﾂ作成）を地域と連携して実施した。 （ＭＩＣＥ誘致支援の実施） ・R6年度のＭＩＣＥ誘致支援事業においては、北海道ＭＩＣＥ誘致促進助成金により13件の大型コンベンションの誘致につながったほか、商談会の実施（商談件数91件）、ＭＩＣＥエキスポへの出展（商談件数100件）、ファムトリップの実施（１コース）や、韓国でのセミナー・商談会及びセールスコールの開催等を実施した。

参考HP①	北海道観光のくにづくり行動計画について	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/252-kodo_keikaku/koudoukeikaku.html
参考HP②	北海道観光振興機構　観光統計データ　レポート一覧	https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/
参考HP③	北海道公式観光サイト	https://www.visit-hokkaido.jp/

令和７年度　基本評価調書	【1(2)A_0503】誘客活動の推進

<指標分析> *成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
観光入込客数（道内客）			万人	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和15年度	82.7%	C
			目標値	4,880	4,880	4,880	4,880以上		（80%以上90%未満）
			実績値	3,234	3,756	4,038			

設定理由 *要件(1)(2)*	道民への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により道内観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、9月頃公表
根拠計画等 *要件(3)*	「北海道総合計画」及び「北海道観光のくにづくり行動計画」

分析（主な取組と成果）

コロナ5類移行や「ＨＯＫＫＡＩＤＯ　ＬＯＶＥ割」等の施策があり回復はあったものの、物価高の影響などにより、目標には及ばなかった。引き続き、道内観光へ向けたPRを実施していく。

成果指標②	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
観光入込客数（道外客）			万人	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和15年度	75.6%	D
			目標値	636	652	668	700以上		（80%未満）
			実績値	261	404	505			

設定理由 *要件(1)(2)*	道外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により道外観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、9月頃公表
根拠計画等 *要件(3)*	「北海道総合計画」及び「北海道観光のくにづくり行動計画」

分析（主な取組と成果）

コロナ5類移行や「HOKKAIDO LOVE割」等の施策があり回復はあったものの、物価高の影響などにより、目標には及ばなかった。引き続き、北海道観光へ向けたPRを実施していく。

成果指標③	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
観光入込客数（外国人旅行客）			万人	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和15年度	184.3%	A
			目標値	0	69	127	244以上		（100%以上）
			実績値	－	69	234			

設定理由 *要件(1)(2)*	海外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により外国人観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、9月頃公表
根拠計画等 *要件(3)*	「北海道総合計画」及び「北海道観光のくにづくり行動計画」

分析（主な取組と成果）

コロナ5類移行や入国緩和施策、さらに円安などの影響などにより、大幅に回復した。

成果指標④	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
国際会議等の開催件数（暦年）			件	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和14年度	35.8%	D
			目標値	128	131	134	155		（80%未満）
			実績値	0	23	48			

設定理由 *要件(1)(2)*	道内で開催された国際会議など、ＭＩＣＥ誘致・開催の推進状況を測る指標であり、戦略的なプロモーションへの課題の取組に関する成果を測る指標として設定。
公表時期	毎年調査、翌年12月公表
根拠計画等 *要件(3)*	「北海道総合計画」

分析（主な取組と成果）

R5年の国内における国際会議開催件数は1376件、R元年（3621件）比で38%と、コロナ禍からの回復傾向が見られる。本道においても同様の回復傾向にあり、札幌市以外の道内各市での開催も見られた。今後更に、国際会議の日本開催に向けた国の誘致活動の強化や国際会議の開催件数の増加が見込まれることから、引き続き道による市町村の取組支援やコンベンションに対する補助など、本道の価値や優位性を活かし、ＭＩＣＥ誘致の促進に取り組んでいく必要がある。

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【1(2)A_0503】誘客活動の推進

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） 国内では、物価高等の影響により観光需要の伸び悩みや他県との誘客競争が激化することが見込まれる。 また、感染症の影響により低迷していたＭＩＣＥの開催は回復基調にあり、今後、開催件数の増加が見込まれることから、ＭＩＣＥの誘致にあたっては道内市町村等との連携を強化しながら、本道の強み・特性を活かした取組が必要である。 （取組と成果） 観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの促進にあたっては、北海道観光機構をはじめ市町村、観光協会、関係企業・団体と連携のもと様々な手法による効果的な情報発信を図っている。 北海道ＭＩＣＥ誘致推進協議会の構成市等と連携した取組により、R6年度には、13件の大型コンベンションの誘致につながったほか、商談会開催や展示会への出展、ファムトリップの実施や韓国でのセミナー・商談会及びセールスコールの開催等により、道内各地域へのＭＩＣＥ誘致を促進することができた。

緊急性・優先性	（課題） 訪日外国人来道者数（実人数）はH30年度に過去最高の312万人となったが、感染症の影響により、R2年度以降は低迷が続き、現在はコロナ前の水準と比較すると回復途上の段階であるため、プロモーションや観光需要喚起策など総合的な支援を継続的に行うことが必要。また、道内における国際会議開催件数は、感染症の影響により激減したがR4は23件、R5は48件と回復基調にある。今後更に開催件数が増加し、他都府県との競争が激しくなることが見込まれることから、市町村への取組支援など、本道の価値や優位性を活かし、ＭＩＣＥ誘致の促進に取り組んでいく必要がある。 （取組と成果） 観光産業は外部要因に影響されやすいため、国内外に向けたプロモーションや観光需要喚起策など総合的な支援について国に対し要望を行ってきた（R7年5月）。引き続き、北海道ＭＩＣＥ誘致推進協議会の構成市等と連携し、商談会開催や展示会への出展などを実施し、本道へのＭＩＣＥ誘致の促進に取り組む。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
圏域別の宿泊延べ数（道央広域）の構成比	54%	54%	62%

（課題）

全道の宿泊延べ数は、道央エリアに半数以上が集中しており、地域偏在が大きい状態となっている。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
コロナ5類移行などにより、観光客が回復してきているが、道央圏に集中する状況が続いている。	c

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
グリーンシーズン（4～10月）における欧米豪からの訪日外国人宿泊延数	7,340人泊	26,077人泊	257,638人泊

（課題）

欧米豪圏については、認知度向上及び季節偏在の解消への取組が必要。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
コロナ5類移行などにより、観光客が回復してきているが、ウインターシーズンと比べて低い状況が続いている。	b

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
道の補助制度活用により道央圏以外で開催されたコンベンションの件数	3	8	9

（課題）

ＭＩＣＥについては、他府県との競争や、開催地の道央圏への偏在が課題となっている。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
R6年度のＭＩＣＥ誘致支援事業（北海道ＭＩＣＥ誘致促進助成金）により、旭川市、函館市、帯広市において9件の大型コンベンションの誘致につながった。	b

令和７年度　基本評価調書	【1(2)A_0503】誘客活動の推進

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	C※	連携状況	○	総合判定	やや遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	c		

■判定が「D」の成果指標
（観光入込客数（道外客）,国際会議等の開催件数（暦年））

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	観光入込客数は、コロナ禍から回復途上の状況にあることから、引き続き、関係機関との連携のもと、需要回復の波を全道域へ波及させるため、道内の観光関連事業者に対する継続的な支援に取り組む。また、新規客とリピーターの拡大に向け、メディアやSNS等さまざまな媒体による情報発信を行い、広域周遊の促進や将来的なリピーターとなる児童や生徒を対象とした教育旅行の誘致に取り組む。
	②	海外現地旅行事業者等に対するセールス活動、観光情報等の発信、誘客プロモーションなどを実施し、北海道の認知度向上や来道者の拡大を図る。
	③	コロナ感染症の影響により激減したＭＩＣＥの開催は回復基調にあり、今後更に開催件数が増加し、他都府県との競争が激しくなることが見込まれることから、国内外でのプロモーションの強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助するなど、本道の価値や優位性を活かし、ＭＩＣＥ誘致の促進に取り組む。

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	【施策目標の達成状況】 総合計画に掲げる、世界トップクラスの観光コンテンツの確立のため、地域の特性を活かした観光資源の発掘・磨き上げ・発信など、観光地づくりと多様なニーズを的確に捉えたプロモーションを一体的に展開することや、国及び地域の関係者などとの連携を強化しながら、本道の強み・特性を活かしたＭＩＣＥの誘致を推進することが重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	観光需要回復の波を確実に捉えるため、旅行者のニーズ、国・地域の市場特性等を踏まえた戦略的なプロモーションに取り組むとともに、ウェブやSNS等を活用した多彩な食や雄大な自然などの魅力の発信、広域周遊の促進や将来的なリピーターとなる児童や生徒を対象とした教育旅行の誘致、道民の道内旅行の促進などにより、誘客を促進する。
	②	多様な国・地域に対する誘客活動を基本に、市場特性や旅行嗜好、就航している定期航空路線の状況、さらには、経済成長の動向などを総合的に分析し、海外現地旅行事業者等に対するセールス活動や観光情報等の発信、誘客プロモーションなどを実施し、北海道の認知度向上や来道者の拡大を図る。
	③	引き続き、国内外でのプロモーションの強化など市町村の取組を支援するほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行う。

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	国内外でのプロモーションの強化のため関係機関と連携し、国内における旅行博や大規模イベントへの出展、海外における商談会への出展や本道への招聘事業等を実施するなど、戦略的なプロモーションを実施していくほか、本道で開催されるコンベンションに対して補助を行う。

令和７年度　事務事業評価調書

施策名	誘客活動の推進	施策コード	0503

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
0321		一般	誘客促進強化事業	国内外でのＰＲやマスコミ等の活用により、道内外観光客誘客を推進する。	観光振興課		394,955	394,955	1.0	0.0	1.0	403,130	①②	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照 【事務事業のコスト】 多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	拡充
0322		一般	MICE誘致支援事業費	本道へのＭＩＣＥ誘致を促進するため、ＭＩＣＥ主催者に対するプロモーションを実施するとともに、市町村の受入環境充実等の取組を支援する。	観光振興課		28,418	28,418	0.4	0.0	0.4	31,688	③	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照 【事務事業のコスト】 多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	改善
0323		一般	どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費	東京都に設置した「どさんこ旅サロン」を運営し、効率的な北海道への誘客促進を図る。	観光振興課		12,720	12,720	0.4	0.0	0.4	15,990			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0324		一般	北海道ロケーション誘致推進費	ロケーション支援窓口を庁内に設置し、ロケ地情報を効果的に活用した観光客の誘致を進める。	観光振興課		274	274	0.1	0.0	0.1	1,092	①	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	改善
0326		一般	北海道観光誘致促進事業費（国際観光推進事業）	海外の旅行専門誌等を活用し情報発信することにより、東アジアやオーストラリア等からの観光客誘致を図る。。	観光振興課		33,340	33,340	0.4	0.0	0.4	36,610	②	改善（取組分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照 【事務事業のコスト】 多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	改善
0327		一般	北海道観光誘致促進事業費（地域プロモーション）	旅行会社や直接消費者と接遇する催事や旅行博等で、道内各地域の特性を生かしたプロモーションを実施。	観光振興課		60,000	60,000	0.4	0.0	0.4	63,270	①	改善（指標分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照 【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照 【事務事業のコスト】 多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	改善
0328		一般	北海道教育旅行活性化事業費	北海道への教育旅行の誘致を図るため、情報発信及び関係者に対するプロモーション等を実施する。	観光振興課		21,440	21,440	0.4	0.0	0.4	24,710			【事務事業のコスト】 関与団体に対する補助金等は、引き続き、道の施策推進上の必要性を検証し、意義が薄れた補助金、負担金及び交付金の縮減や、委託契約に係る競争性の導入の検討を行っていくこと。	多様化した観光ニーズ、観光需要の回復傾向を踏まえ、道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めるとともに、新たな会員の獲得や収益事業の拡大など自主財源の確保に向けた各取組を積極的に後押ししていく。	
0332		一般	観光振興諸費	国内外の観光関連情報の発信及び収集、各種調査、関係機関との調整等を行う。	観光振興課		5,000	5,000	0.4	0.0	0.4	8,270					
0334		事務（0予算）	関係機関・団体・関連産業に関する事務	北海道運輸局、北海道開発局、日本観光協会、北海道観光振興機構等関係機関・団体、関連産業との連絡調整等	観光振興課		0	0	0.4	0.0	0.4	3,270					
0335		事務（0予算）	旅行業法に基づく登録事務	旅行業者及び旅行代理業者の登録、変更、更新登録、立ち入り検査、指導、苦情・相談対応等。	観光振興課		0	0	0.4	0.0	0.4	3,270					
0336		事務（0予算）	観光審議会に関する事務	審議会及び部会の開催、開催結果のとりまとめ、審議内容に関する資料の収集・作成・提供	観光振興課		0	0	1.0	0.0	1.0	8,175					

令和７年度　事務事業評価調書

施策名	誘客活動の推進	施策コード	0503

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制			フルコスト（千円）	一次政策評価		二次政策評価意見	３月末時点における対応	
								うち一般財源	本庁	出先機関	人工計					
												対応方針番号	方向性		二次評価意見への対応状況	翌年度の方向性
0337		事務（0予算）	北海道観光のくにづくり行動計画に関する事務	計画目標の達成状況の把握、道の施策の推進管理等。	観光振興課		0	0	1.3	0.0	1.3	10,628				
0338		事務（0予算）	新たな財源確保に関する事務	新たな財源の確保の検討を進めるため、関係団体や地域での説明等を実施。	観光振興課		0	0	1.0	0.0	1.0	8,175				
0320	0505	事務（0予算）	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課		0	0	9.0	0.0	9.0	73,575				
0351		一般	欧米豪市場誘客促進事業	PRやマスコミ等の活用により、外国人観光客の誘客を促進する。	観光振興課		205,686	205,686	1.0	0.0	1.0	213,861	②	改善（取組分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	改善
0352		一般	アジア市場誘客促進事業	PRやマスコミ等の活用により、外国人観光客の誘客を促進する。	観光振興課		109,063	109,063	1.0	0.0	1.0	117,238	②	改善（取組分析）	【施策目標の達成状況、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	拡充
計						0	870,896	870,896	18.6	0.0	18.6					